

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 シンポジウム

国難災害 南海トラフ地震に立ち向かうために

参加費無料

発生すると甚大な被害をもたらすと予想されている南海トラフ地震。少子高齢化・人口減少が進む日本社会を襲えば、被災後の災害対応、復旧・復興は極めて困難になることが懸念されています。

本シンポジウムでは、ひょうご震災記念21世紀研究機構の研究プロジェクト「南海トラフ地震に備える政策研究」で得られた知見を共有するとともに、この国難に立ち向かうために我々はいかに備えるべきか、皆様と考えてまいります。

日時 令和5年5月10日(水) 13:30～16:30 対面開催

場所 ホテルクラウンパレス神戸
5階 ザ ボールルーム

(神戸市中央区東川崎町1-3-5 JR神戸駅南側すぐ)

定員 100名

(事前申込制・先着順)

※申込方法は裏面をご覧ください。



- ・JR神戸駅より徒歩2分 (地下街直結)
- ・阪急神戸線・阪神電鉄・山陽電鉄「高速神戸駅」より徒歩5分 (地下街直結)
- ・地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」より徒歩2分 (地下街直結)
- ・地下鉄西神・山手線「大倉山駅」より徒歩12分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

(1) 挨拶

(2) 趣旨説明



牧 紀男

京都大学防災研究所教授

(3) 基調講演

「南海トラフ地震の
これまでの減災研究と今後の展開」



河田 恵昭

人と防災未来センター長

(4) パネルディスカッション

「国難災害 南海トラフ地震に立ち向かうために」

コーディネーター

牧 紀男

京都大学防災研究所教授

パネリスト



立木 茂雄

同志社大学社会学部教授



越山 健治

関西大学社会安全学部教授



阪本 真由美

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授



飯尾 潤

政策研究大学院大学教授



永松 伸吾

関西大学社会安全学部教授



中林 啓修

国土大学防災・救急救助総合研究所准教授

(5) 総括



五百旗頭 真

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長

申込方法

- 下記QRコードもしくはWebフォームからお申し込みください。

<https://secure.kiis.or.jp/nets/eventry/0510c3743/entry20230510.html>



- 申込締め切り日：

令和5年4月28日(金)

- ・先着順で受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・申込を受け付けた後、確認メールをお送りします。

その他

- ご参加の際は適切なマスク着用をお願いします。また、当日体調不良の方は参加をお控えください。
- 今後の社会情勢により、実施方法等を変更又は中止する可能性があります。その場合は、ひょうご震災記念21世紀研究機構ホームページに掲載するほか、参加申込者には個別にメールでご連絡します。